

置賜総合病院 << 事務部 >>

ミッション		置賜地域の基幹病院として、地域住民から信頼され、質の高い医療を継続的に提供する		◆第3次病院改革プラン実行計画における新規項目								
ビジョン		(1) 高度・救急医療の充実 (2) 患者本位の医療の提供 (3) 人材の確保・育成 (4) 持続可能な健全経営		※H25年度目標値の未達成項目								
区分	目標(戦略)	重要成功要因	行動内容	評価指標	H25年度実績	H26年度第3四半期	H26年度目標値(努力目標)	H27年度目標値	H28年度目標値	H29年度目標値	備考	
財務の視点	医療収益の向上	診療単価の向上	外来診療単価の向上	外来診療単価	11,891 円	12,439 円	10,700 (12,000) 円	12,400 円	12,450 円	12,550 円	直近値 H26.4~10:12,449円 参考値 > 日本病院会H25.6調査 平均値:12,528円 #H27予算上同額	
			入院診療単価の向上(DPC係数UP、各種指導料・計画料算定の強化)	入院患者単価	47,954 円	49,761 円	48,000 円	49,650 円	50,150 円	50,650 円	直近値 H26.4~10:49,320円 参考値 > 日本病院会H25.6調査 DPC病院平均値:55,115円 #H27予算上同額	
			総合入院体制加算の維持	治癒+情報添付逆紹介率	40.8 %	10月41.1 11月43.1 12月40.4 %	40 %	41 %	42 %	43 %	40%超維持で約1億円/年 収益確保 H25年.9月~加算算定開始	
		病床運用の効率化	適正な平均在院日数の維持	平均在院日数(一般病床)	13.6 日	14.6 日	14.0 日	14.5 日	14.5 日	14.5 日	14.5 日	適正な在院日数の維持(高齢者などの複雑性指数の高い患者の増、短期滞在手術の新たな設定に伴う伸び)
			コスト分析・DPC分析による収益の向上	DPC精度調査(DPC増収策、出来高項目の請求もれの有無調査)による適正なDPC請求の強化	DPC精度調査(回/年)	年6 回	3 回	年4 (6) 回	年6 回	年6 回	年6 回	年6 回
		SPD分析+DPC分析+個別原価分析(術式、DPC疾患別等)による収益の向上		-	DPC分析実施	DPC分析実施	実施	DPC分析実施	DPC分析実施	DPC分析実施	DPC分析実施	診療情報管理室によるDPC分析と提言
		患者の確保	適正な患者数の維持 外来患者	1日当たりの外来患者数	913.2 ※人	889.2 人	860 人	890 人	880 人	870 人	870 人	紹介・逆紹介の促進による再来患者数の抑制 #H27予算上同数
			適正な患者数の維持 入院患者	病床利用率	81.0 ※%	82.7 %	85.0 %	81.3 %	81.3 %	81.3 %	81.3 %	新規の紹介患者増、2次検診、人間ドック等による新規患者を確保 #H26予算上同率
			新入院患者数の維持・確保	新入院患者数(月/人)	- 人	- 人	- 人	855 人	855 人	855 人	855 人	平均在院日数、病床利用率目標達成のため必要となる新入院患者数を維持
			紹介・逆紹介の推進	紹介率	63.3 ※%	63.8 %	75 %	68 %	70 %	72 %	72 %	要件見直しでH26年度~紹介率65% 逆紹介40%の確保が必須 紹介経由の新規患者数の確保
逆紹介率	56.0 %			64.9 %	60 %	65 %	65 %	65 %	65 %	地域連携バスによる退院患者逆紹介の推進 ☑総合入院体制加算の維持		
予約しやすい体制の整備	◆予約センター応待数(自動音声対応数)の縮減		-	-	-	20 件	15 件	10 件	10 件	10 件	平成25年度年間平均26.37件(日/平均)	
	◆各診療科紹介枠数の定期的見直し(回/年)		-	-	-	年2 回	年2 回	年2 回	年2 回	年2 回	開業医、再診患者からのスムーズな予約取得体制	
人間ドック患者数の増 ☑院内体制の調整・整備	1泊2日ドック年間件数		143 ※人	166 人	160 人	165 人	165 人	165 人	165 人	165 人	6人×34週=204人枠を設定 委託先との連携・情報収集	
	◆1日脳ドック	-	-	39 人	50 人	55 人	60 人	60 人	60 人	4人×34週=136人枠設定 学校共済との契約検討		
人間ドックの充実 ☑各種ドックと検査項目の検討・整備	-	-	一部実施 H26.5~ 脳ドック開始	実施	充実	評価・充実	評価・充実	評価・充実	評価・充実	1泊2日コース、1日脳ドック広報の実施。 検査項目の院内調整		
	未収金の削減	高額医療限度額証明利用率 > H25実績を維持	87.2 %	89.9 %	85 (87.5) %	88 %	89 %	90 %	90 %	短期入院患者は、未利用のため、100%には至らない。		
		早期対応による個人未収金の発生防止	106.4 %	決算時に確定	95 %	95 %	95 %	95 %	95 %	個人未収金額 H22年度: 54,732,008円 H25年度: 58,214,322円		
未収金債権管理の強化及び破産者等に係る不納欠損処理の実施	-	検討 ※	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
医療費用の削減	給与費比率の通減	収益性の向上による給与比率の通減	給与費/医療収益比率	51.4 %	54.5 %	55.4 (53.5) %	51.2 %	51.2 %	51.2 %	51.2 %	過去10年間の人件費伸び率による試算値。H24地方公営企業決算 全国平均53.5% 類似規模48.7%。7対1看護体制実施時、一時的に比率がUP。	
	材料費の削減	採用医薬品の見直しによる薬品費の縮減	薬品費/医療収益比率	9.9 %	- %	- %	9.7 %	9.6 %	9.6 %	9.6 %	(A) 造影剤、血液製剤等除く H24地方公営企業決算 全国平均12% 類似規模13.1%	
		効率的な在庫管理による材料費の縮減	診療材料費/医療収益比率	11.9 ※%	13.0 %	10.1 %	13.5 %	13.4 %	13.2 %	13.2 %	(B) H24地方公営企業決算 全国平均10.7% 類似規模12.4%	
		参考値	給食・消耗品等/医療収益比率	1.1 %	1.0 %	0.9 %	1.0 %	1.0 %	1.0 %	1.0 %	(C)	
	参考値	材料費/医療収益比率	25.0 ※%	26.0 %	23.1 (22.7) %	24.2 %	24.0 %	23.8 %	23.8 %	23.8 %	(A)+(B)+(C) H24地方公営企業決算 全国平均23.2% 類似規模25.8%	
		経費削減	効率的な業務仕様委託による経費縮減	業務仕様書の点検・変更	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	H27:SPD契約更新年度
	省エネルギー推進による経費削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大型熱源機器類の高効率形への移行(燃料系から電気系への更新)を実施中	
ダウンライト(3,700台)のLED化	4~8F病棟(1,777台)のダウンライト化(5年間で完了)	280/3700台 7.6%	280/3700 7.6%	280/3700 7.6%	360 台	360 台	360 台	360 台	360 台			
◆計画的資本投資による施設機能・医療機能の向上	◆機能の維持・向上に向けた整備	◆高額医療機器更新計画等による計画的更新	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	◆予約センター、連携・相談機能集約による医療サービスの向上	予約センター、医療連携・相談室のワンフロア化	-	-	-	整備	運用	運用	運用	運用	患者プライバシー保護のため相談室を整備。医療連携・相談業務と予約業務を同室で行うことでの効率化	
	◆施設保守管理計画による設備の更新	電源関係設備の更新整備	-	-	-	直流電源装置、無停電源装置等	電源回路盤等	受変電設備機器、非常用発電機器等	-	-		
	◆送風設備(エアシューター)更新整備	-	-	-	一部更新	一部更新	更新完了	-	-			
◆洗浄用機器等更新	-	-	-	一部更新	更新完了	-	-	-	-			

(経営基盤の強化改善)

置賜総合病院

《事務部》

ミッション		置賜地域の基幹病院として、地域住民から信頼され、質の高い医療を永続的に提供する				◆第3次病院改革プラン実行計画における新規項目						
ビジョン		(1) 高度・救急医療の充実 (2) 患者本位の医療の提供 (3) 人材の確保、育成 (4) 持続可能な健全経営				※H25年度目標値の未達成項目						
区分	目標（戦略）	重要成功要因	行動内容	評価指標	H25年度実績	H26年度第3四半期	H26年度目標値 (努力目標値)	H27年度目標値	H28年度目標値	H29年度目標値	備考	
				消防防災監視盤更新		-	-	-	更新	-		

置賜総合病院 <<事務部>>

ミッション		置賜地域の基幹病院として、地域住民から信頼され、質の高い医療を継続的に提供する				◆第3次病院改革プラン実行計画における新規項目							
ビジョン		(1) 高度・救急医療の充実 (2) 患者本位の医療の提供 (3) 人材の確保・育成 (4) 持続可能な健全経営				※H25年度目標値の未達成項目							
区分	目標(戦略)	重要成功要因	行動内容	評価指標	H25年度実績	H26年度第3四半期	H26年度目標値(努力目標)	H27年度目標値	H28年度目標値	H29年度目標値	備考		
顧客の視点	(信頼され、経営基盤の選ばれる病院)	顧客満足度の向上	患者サービスの向上	患者満足度調査の実施 入院患者満足度調査(退院患者アンケート以外に年1回アンケート調査)	満足度率	78.1 %	84 %	85 %	85 %	85 %	85 %	日本病院会Q1参加病院226病院調査値 満足度=満足+やや満足 H25中央値:84.2% 平均値82.2%	
			外来患者満足度調査(年1回アンケート調査)	満足度率	70.0 %	1月予定 %	83 %	80 %	80 %	80 %	日本病院会Q1参加病院226病院調査値 満足度=満足+やや満足 H25中央値:55.22% 平均値54.2%		
			予約患者の診療待ち時間の縮減(診療予約枠の最適運用)	30分予約枠内診療率	70.2 %	63.9 % (暫定値)	80 %	75 %	78 %	80 %	第2次病院改革プランH26目標:80%		
			接遇の向上	接遇研修会の開催	1 ※回	2 回	3 回	3 回	3 回	3 回	新規採用職員の参加率100%		
			患者サービスの向上	患者アメニティの充実	院内巡視による点検	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
				患者用インターネット環境整備	整備	検証	整備	検証(年2回)	検証(年2回)	検証(年2回)	検証(年2回)	検証(年2回)	
				病院ボランティアの充実	ボランティア人数	4 ※人	6 人	10 人	7 人	8 人	10 人	院長との懇談会等の実施	
			臨床指標の積極的な公表	◆各診療科の診療実績などのクリニカルインディケーター(臨床指標)の公表	ホームページ情報の充実・更新	更新	更新	充実・更新	充実・更新 リニューアル	充実・更新	充実・更新	充実・更新	
					病院年報の発行	年1 回	年1回予定 回	年1 回	年1 回	年1 回	年1 回		
			◆相談体制の充実	◆入院患者サポート体制の充実	入院患者相談対応件数(件/年)	-	-	-	4,000 件	4,000 件	4,000 件	4,000 件	MSWの配置による充実H25:相談窓口対応4,127件 がん以外医療相談839件 がん以外福祉相談857件
◆一般福祉相談の充実	一般福祉相談対応件数(件/年)	-			-	-	1,600 人	1,600 人	1,600 人	1,600 人			
医療連携による地域完結型医療の推進	地域医療支援病院の機能強化	紹介入院患者の共同診療の実施	-	5 ※人	2 人	36 人	5 人	10 人	15 人	医師会との顔の見える関係の構築 ⇒救急外来協働診療の来院時間の活用し、実施			
		置賜医療情報ネットワーク(OKI-net)による情報共有の推進	医療関係機関参加施設	77 施設	82 施設	90 施設	100 施設	110 施設	120 施設	登録連携医療機関152施設 (米沢市40、長井市西置賜48、南陽市東置賜64)			
		紹介患者インターネット予約システムの推進 ⇒紹介予約枠の随時見直し	Web枠取得件数(件/月)(検査のみ紹介)	-	-	-	50 (10) 件	65 (15) 件	80 (20) 件	平成26年平均42.2件(検査のみ5.2件)			
		紹介予約患者(事前予約)の予約枠内診療の実践	予約枠内診療開始率	64.4 %	47.3 % (暫定値)	90 %	80 %	85 %	90 %	問診時間等を考慮した予約時間前の来院案内の周知			
		地域の医療従事者、住民に対する講演会・研修会の開催 ⇒救急医療講習会、特別講演会などの積極的な広報による院外参加者数の増大	医療従事者対象研修会開催数(回/年)	37 回	33 回	12 回	15 回	15 回	15 回	①がんの早期診断、講演会 ②救急医療(脳卒中、急性心筋梗塞等)研修会 ③糖尿病、慢性腎臓病を含む生活習慣病等研修会・講演会 ④その他講演会皮膚病、感染対策、医療安全			
		医療連携だより発行による情報発信、連携強化	連携だより発行(回/年)	3 ※回	3 回	4 回	4 回	4 回	4 回	がん診療、救急医療、生活習慣病等の講演内容等の医療連携だよりへの掲載			
		地域連携クリニカルバスによる医療連携強化	地域連携クリニカルバスの充実	地域連携バス運用分類	9 分類	9 分類	11 分類	10 分類	10 分類	11 分類	大腿骨頸部骨折・急性心筋梗塞・5大がん・ウイルス性肝炎・脳卒中 H27糖尿病地域連携バス開始 CKDバスの検討		
		退院支援の強化	院内(医師・メディカルスタッフ等)、院外(かかりつけ医・看護師・ケアマネジャー)の多職種連携による退院支援の推進	退院調整加算加算割合(算定数/計画書策定数)	-	-	-	75 %	80 %	85 %			
				◆退院支援部門依頼(件数/月)	-	-	-	100 人	150 人	150 人	H25年度:平均30人/月 H26年度前期で平均約50人/月		
		(患者視点の質・◆に立って医療の質の高・向上医療の提供)	5 疾病のほか、地域の安心・安全を支える医療の充実	救命救急センター機能の充実	救急科の設置 救命救急センター診療体制の充実	専任医師の配置	4人体制	4人体制	4人体制	4人体制	4人体制	4人体制	H26.4→救急科標榜
がん診療連携拠点病院機能の充実(がん医療)	がん相談支援センター機能の充実 ⇒相談しやすい窓口体制の整備			がん相談支援患者対応件数(件/年)	-	-	-	400 件	400 件	400 件	H25:412件/年		
	相談支援研修Ⅲ修了者の配置			2 人	1 人	2 人	2 人	2 人	2 人	H23 相談支援研修Ⅱ修了者、Ⅲ修了者各1名の配置			
	院内がん登録の充実			臨床指標の公表	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
教育病院機能の充実	初期研修医の確保			初期研修医基幹型(協力型)	3 ※人 (8)	4 人 (3)	7 人 (5)	5 人 (8)	5 人 (8)	5 人 (8)	5 人 (8)	基幹型募集枠の検討 10人×2年=20人⇒5人×2年=10人への検討	
	指導医の確保、充実			指導医養成研修受講医師数	2 ※人	1 人	5 人	4 人	4 人	4 人			
	気管挿管の特定行為認定救命士の育成			新規実習修了者数(人/年)	0 ※人	0 人	3 人	1 人	1 人	1 人	置賜管内の気管挿管認定救命士の有資格者が少ない。(1人30症例の実習)		
	医師・メディカルスタッフの臨床研修用シミュレーター機材の充実			計画的整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備			
災害拠点病院機能の充実	防災マニュアル、災害時医療救護マニュアルの点検・見直し			防災マニュアル、災害時医療救護マニュアルの点検・見直し	-	見直し中	見直し中	実施	実施	実施	実施		
				災害対応訓練・災害救護訓練の実施	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
感染症対策	エイズ拠点病院としての医療機能提供体制の充実	マニュアルの点検・整備	点検・整備	検討	-	点検・整備	点検・整備	点検・整備	点検・整備				
臓器移植医療	脳死下における臓器提供可能施設としての体制整備	-	検討	6/11研修会開催 マニュアル等作成中	体制整備	体制整備	体制整備	体制整備	体制整備				
7対1看護体制の実現に向けた看護師確保	看護師確保アクションプランに基づく看護師確保	7対1未実施 ※看護師確保対策実施中	-	実施	充実	実施	実施	実施	実施	看護一部実施(採用試験3回/5回) 当院実習看護学生の応募率のアップ、中高生職場体験実習の提供など			
		看護師学費資金制度の充実	H26~募集 ※	実施	実施	総枠30 人	総枠30 人	総枠30 人					
		看護師用借り上げパートの確保	実施	実施	実施	6 人	6 人	6 人	⇒利用しやすい制度への見直し				
病院機能評価による医療機能の向上	医療の質の向上を図るPDCAの実行 ⇒病院機能評価の認定を踏まえたPDCAの実行	更新申請 自己点検・評価	年1 回	1回実施 予定 回	年1 回	機能評価 再認定申請	自己点検・評価	自己点検・評価	自己点検・評価				

置賜総合病院 <<事務部>>

ミッション		置賜地域の基幹病院として、地域住民から信頼され、質の高い医療を継続的に提供する				◆第3次病院改革プラン実行計画における新規項目							
ビジョン		(1) 高度・救急医療の充実 (2) 患者本位の医療の提供 (3) 人材の確保、育成 (4) 持続可能な健全経営				※H25年度目標値の未達成項目							
区分	目標(戦略)	重要成功要因	行動内容	評価指標	H25年度実績	H26年度第3四半期	H26年度目標値(努力目標値)	H27年度目標値	H28年度目標値	H29年度目標値	備考		
顧客の視点	医療の向上・医療	◆全職員の指針の理解、納得と行動	「患者さんの権利と責任」、「臨床倫理指針」に示した指針に基づく医療の提供	新任職員研修会で明示、周知徹底、遵守	実施	実施	実施	実施	実施	実施	新任職員研修会での明示と周知徹底、遵守		
	チーム医療の推進	各種チーム医療の充実	成果指標を掲げたチーム医療の推進	臨床指標の公表	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
業務プロセスの視点	業務の効率化、業務の革新、◆ワークライフバランスの推進	効率的な業務推進	業務の見直し	各部門・各職種間における院内全体の業務体制の再構築(業務の分担と連携、直営・委託業務のあり方の見直し)	-	現状把握・検討一部実施	現状把握・検討	検証・改善	検証・改善	検証・改善	検証・改善	院内の委員会などでの医療クランク、補助職員などの効果的・効率的な活用による業務負担軽減策の検討	
			委託業務の検証、アウトソーシングの検討	-	検討	検討	実施	実施	実施	実施			
			医療情報基幹システムの計画的更新	-	事業費の積算仕様の決定バンダーの決定	-	事業費の積算仕様の決定バンダーの決定	新システム稼働	更新計画による順次更新	更新計画による更新完了	基幹システム保守	基幹システム保守	第4世代システム更新に向けた検討(平成30年度～)
	医師、メディカルスタッフの負担の軽減	医師の負担軽減	医療クランクの効果的な活用による医師等の負担軽減	医師事務補助体制加算15:1維持	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	医師業務負担軽減などの点検・評価	
			医療クランクのキャリアアップ(医師事務補助者研修会の受講)	研修会修了者	+3 ※(5) 人	+2 (7) 人	+10 (30) 人	+2 人	+2 人	+2 人	日本病院会主催 医師事務補助者コース 研修修了者		
		メディカルスタッフの負担軽減	医療クランク、補助職員などの効果的な活用の推進	-	検証・改善	検証・改善	検証・改善	検証・改善	検証・改善	検証・改善	検証・改善	院内の各委員会による院内全体の業務連携の検討	
			医療ソーシャルワークの充実・強化	がん相談員基礎研修Ⅲ修了者	3 (1) 人	2 (-1) 人	4 (+1) 人	4 (+1) 人	5 (+1) 人	5 (+1) 人	5 (+1) 人	5 (+1) 人	病棟配置等による退院支援の充実
	医療にかかわる安全管理の推進(コンプライアンス)	医療安全文化の醸成	各種研修会の充実	医療安全マニュアルの周知徹底・研修会の実施	◆2回以上参加率80%(全職員)以上	-	-	-	80%以上	80%以上	80%以上	新任職員研修、医療機器安全管理、医薬品安全管理、院内感染防止など	
			医療安全マニュアルの遵守	医療安全に関する組織の強化	院内医療メディエーター(医療対話推進・仲介者)の育成	研修修了者数	+0 ※(1)フォローアップ研修受講	+0 (1) 人	+1 (3) 人	+1 人	+1 人	+1 人	苦情や事故発生時の院内初期対応に対応する院内メディエーターを養成
		リスクマネジメントの充実・強化	施設・設備管理体制の強化	リスクマネジメント体制の点検・評価	危機管理連絡体制の点検・評価	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	通報訓練1回、消火訓練2回、避難・誘導訓練2回(内1回は他の災害を想定した避難・誘導訓練)
医療情報システム、事務系ネットワークシステムの情報セキュリティの強化・徹底			情報セキュリティ研修会(回/年)	0 ※回	1回(新任看護師対象)	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	新任職員参加率100%	
◆セキュリティマニュアルの整備			-	-	-	点検・整備	点検・整備	点検・整備	点検・整備	点検・整備	点検・整備	事務共有システムのセキュリティマニュアルの整備	
学習と成長の視点	(人材の確保・研修・育成)	職員の満足度・モチベーションの向上	職員満足度調査の実施	H24調査結果に対する対応策の実施	-	H24調査結果に対する対応策の実施	-	H24調査結果に対する対応策の実施	満足度調査の実施	次期計画への反映	H24調査結果に対する対応策の結果について、H28に第2回目の調査を実施。次期計画への検討材料とする。		
			満足度の把握	「全体として、総合病院で働くことにやりがいを感じているか。」	肯定率80%以上	-	-	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	病院全体
			「今の仕事で自分の能力に合っているといると思う。」	肯定率80%以上	-	-	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	〃
		職員表彰制度の充実	永年勤続者への感謝状贈呈	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
	能力開発	戦略的人事管理の実践	定員管理計画及び年度別採用計画の策定	年次計画の策定と確保	計画策定 ※	検討中	確保	計画策定	実施	実施	実施		
			職種別の育成・研修カリキュラムの策定と実行	-	検討 ※	実行	実行	実行	実行	実行	実行		
			人材の最適活用の実行(個別職員の現在能力、潜在能力の最大活用)	職員ヒアリングの実施	実施	検討中	実施	実施	実施	実施	実施	実施	・ジェネラリスト、スペシャリストの育成・委員会活動・チーム医療への貢献度評価による人材の最大活用
	(職場満足度の向上分析)	働きやすい職場環境の構築	衛生委員会活動の推進による職場環境の向上	時間外勤務時間の縮減、職場アメニティの改善など	点検・評価・改善	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
			①職員のアメニティーの充実	◆休憩室の計画的整備	-	-	-	一部整備	一部整備	整備完了			
			③◆育児・介護支援	院内病児・病後児保育の実施	-	-	-	検討	整備	実施			
④◆多様な働き方の検討・導入			◆2交代制勤務の選択制度の試行	-	-	-	試行	導入(試行結果による)	導入(試行結果による)				
実組織の活性化、合理的で機動性の高	◆職員の意識改革	◆継続的な組織の革新	経営企画部門・診療情報管理・分析部門の強化	-	体制強化	体制強化	体制強化	体制強化	体制強化	体制強化			
			SE職員、診療情報管理職員の専門性を高める嘱託職員の任用	-	検討	検討	実施	検討	実施	実施			
	経営意識の醸成	経営分析及び目標管理の実践と情報発信	経営改善委員会による経営分析(回/年)	12 回	8 回	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回			
			経営改善だより発行(回/年)	4 ※回	1 回	12 回	6 回	6 回	6 回				
情報共有による経営戦略ベクトルの統一	情報の共有化	幹部職員研修会の開催	-	検討 ※	検討	実施	実施	実施	実施	実施			
			院内広報紙「経営改善だより」による経営情報の共有	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施			

置賜総合病院

《事務部》

ミッション		置賜地域の基幹病院として、地域住民から信頼され、質の高い医療を永続的に提供する				◆第3次病院改革プラン実行計画における新規項目					
ビジョン		(1) 高度・救急医療の充実 (2) 患者本位の医療の提供 (3) 人材の確保、育成 (4) 持続可能な健全経営				※H25年度目標値の未達成項目					
区分	目標（戦略）	重要成功要因	行動内容	評価指標	H25年度実績	H26年度第3四半期	H26年度目標値 (努力目標値)	H27年度目標値	H28年度目標値	H29年度目標値	備考
い 病 院 運 営 の	◆持続的な組織改革による自立（自律）した病院経営の維持、発展	◆機動的で迅速な病院運営の実現	◆一定の権限と責任ある経営形態の実現（地方公営企業の全部適用等の検討）	-	-	-	-	検討	実現	充実	